

「ティードキッズプロジェクト」に参加するため沖縄に到着した福島県の小中学生たち＝1日、那覇空港



## 伊江島の自然 満喫して



被災地の子どもたちにも、放射能を気にせず遊んでもらおうと沖縄に招待する「ティードキッズプロジェクト」に参加するため、福島県の小中学生30人が1日、那覇空港に着いた。

子どもたちは12日に帰郷するまで、伊江村内の民家に泊まり、海で遊ぶなど自然に触れ、地元の人々と交流する。

同プロジェクトは昨年に続き2回目。作家や大学教授、NPO団体などが実行委員に参加し、子どもたちを受け入れている。空港で関係者が「ようこそ」と拍手で迎えた。プロジェクト代表の加藤彰彦(かとうあきひこ)は「伊江島の

### ティードキッズ 福島の子、那覇に到着

子どもたちやおじい、おばあとお楽しみ時間を過ごしてほしい」とあざつした。

福島県の相馬市立中村第一中学校2年の稲垣真於さん(13)は「思い切り海で遊びたい」と話した。